

第11回「戦争と医の倫理」の検証を進める会 世話人会報告

- ◇日時 2011年2月27日(日) 11時～17時
◇場所 全国保険医団体連合会 会議室
◇参加者 西山勝夫代表世話人、赤羽根巖代表世話人代行、蒔昭三、小島荘明、肥田泰、光石忠敬、山口研一郎、吉中丈志各常任世話人、住江事務局長、岡田朝志、刈田啓史郎、末永恵子、松村高夫各世話人
(事務局) 相場康文、木村徳秀、杉浦秀明、室井正、小林耕治各氏

◇議長 住江憲勇事務局長

◇報告・協議事項

1. 前回会議報告の確認について

第10回世話人会(11.2.13)会議報告は、次回の世話人会で報告、確認することとした。

2. パネル案の検討について

事務局より「パネル内容の次回世話人会までの整理作業の進め方について」の全体的な提案があり、それにそって検討を行った。そこで確認した要点は、下記の通り。

1) パネル案の作成について

(1) パネル未作業部分の作成について

- *「開催趣意書」「はじめに」「世話人会体制」は、住江事務局長(室井)から提案する。
なお、世話人の辞退を表明されている小松、田中両氏については、あらためて事務局より慰留の結果、辞退の意思が固いことから世話人会として辞退を了承した。
- *医学教育、医の倫理向上に関するアンケート結果のまとめは、A班で整理する。

(2) パネル展示の構成と表示形式について

<全体の構成>

*開催趣意書

*はじめに

1. 戦争中に医学者・医師が行った加害の事実
2. 日本の植民地における医学・医療と加害
3. 医学・医療の動員と抵抗
4. 戦後の隠蔽・免責と医学・医療
5. 歴史の検証から医の倫理へ

*「医学教育」「医の倫理向上」に関するアンケート結果の概要

*世話人会体制

【パネル共催展示】

- ・明治大学平和教育登戸研究所資料館よりのパネル5点
- ・同資料館の紹介(設立趣意、所在地・連絡先)

<表示形式>(展示の流れをわかりやすくするため)

*前記の5つを部として区分し、その中のパネルを1-1、2-1など、「第〇部-枝番号」で統一して表示する。

*パネルの文中で、他のパネルを紹介する場合はその「部-番号」を表記し、閲覧者もわかるようにする。

(3) パネル文章の表現整理の要点

- ①一般の方が見てもわかるよう、できる限りやさしい言葉で簡潔に
- ②文字を少なくし、関連の写真や図、資料を添えてわかりやすく
- ③「医の宿命」「戦時、平時に通底」など意見が異なるものは組織合意と表現の工夫を
- ④ips細胞など現在進行中で可能性と危険性を内包する課題は、問題提起的に
- ⑤「戦争犯罪と医学犯罪」「戦争負担と戦争加担」「人体実験と生体実験」等の用語統一
- ⑥個人の敬称(氏)は同一人でも不統一あり、付記の統一的取り扱いを
- ⑦ルビをつける用語は、難解な漢字や医学用語、及び中国の人名は中国の音読み、地名は日本語読みに整理。日本語はひらがな、外国語はカタカナで
- ⑧です・ます調に統一。(中黒)と、(句読点)の整理。段落の1行目は1マス空ける
- ⑨原図表のタイトル説明は、削除か簡潔に整理を
- ⑩外国地名等のカタカナ表記は表記の統一を
- ⑪特別な場合を除き、英数字は半角で(731部隊も半角で統一)

2) 整理作業の日程について

(1) 顧問・世話人の意見集約と世話人会での決定について

※当初予定した開催案内とパネル案は分離して処理する

※顧問・世話人への参加案内 → 3月1日(火) 発送
(参加集約→宿泊、懇親会などの手配を含む)

- ①展示パネル案と目次の修正案 → 3月12日(土)までに
- ②同上の世話人会事前送付 → 3月14日(月) 発送(MLでも発信)
- ③同上の意見集約 → 3月18日(金)
- ④世話人会で最終確定 → 3月21日(日)

※以後、展示パネル、パネル集(普及版)、リーフなどの作成作業開始

(2) 明治大学で展示するパネルの選択 → 次回世話人会で決定

※展示対象パネルの選択、及び全体構成の扱いについては、明治大学側と相談する。展示対象で選択するパネル案は、例えば下記2点が考えられる。

- ・登戸研究所との関連性が深いもの
- ・各大項目から代表的なものを選び、展示全体の流れがわかるもの

(3) 展示パネルの「補足説明資料」の取り扱いについて

- ・補足資料は、パネル集につけて印刷する方向で準備する。
- ・補足資料の選定は、パネル起案者から次回世話人会までに提示をお願いする。

3) パネル案の内容について

※個々のパネル案の内容について意見交換を行い、主に下記の点を確認した。

- ①「時代背景」(3枚)は削除する
- ②「731部隊の戦後、国会論戦」など要約できるものは整理し枚数を減らす
- ③文字数はできる限り少なくし、資料類はパネルから補足資料にする
- ④記述内容をより正確に行い、表現をわかりやすくする
- ⑤C班のパネル案は、現段階で合意できる範囲に絞り、「今なぜ731なのか、医の倫理を確立するために必要な平和、いのちの平等、市場原理や営利化の対象としないなど5点程度に要約・整理する

※宣言案については、起案者の西山代表世話人から趣旨説明があった。討論では、日本医

学会総会の対応については、今後の共同の方向にも配慮した表現も必要では、との意見も出されたが、今後さらに検討することとした。

* 次回世話人会（3/21）までの整理作業の進め方については、前記（1）の日程を前提に整理し、意見を集約することとした。

3. パネル展示に関わる諸準備について

（1）展示用パネルの設営準備について

下記2社に見積書をとった。①がイベントの大手業者で費用も安いので予定したい。

①ダスキレントオール（新宿イベントセンター）

②株アルファ・デザイン

（2）展示会場での配布資料については下記を予定したい。

①展示パネル全体の項目を記載（シンポジウムも紹介）した1枚のリーフ

②展示したパネル集の冊子（普及版として500円で販売予定）

③アンケート用紙（閲覧した感想など、その場で回収）

なお、明治大学登戸研究所資料館のリーフ（資料館から希望があれば行う）

（3）放映の準備については、来場者にパネルのスライドショーでの紹介、731部隊関連のDVDなどで、尾関企画と相談する。

（4）書籍紹介（販売）について

平和と労働センターで予定。会場スペースとの関係も見て、書店と今後相談する。

（5）パネル用紙について

試作品で確認の結果、パネル作成用紙は、合成紙で準備することとした。

4. 国際シンポジウムの準備について

（1）日本、ドイツ各代表報告の翻訳作業について

日本からの報告の独訳ほぼ完了。ドイツからの報告は、小俣常任世話人が翻訳中。バステイアン氏の報告内容で疑問点の照会は、小俣常任世話人よりメールを出す
今後の予定は、

* 日本からの報告のドイツ語訳が最終確認次第、バステイアン氏に送信

* 開催関連資料など合わせて、双方が完成次第、通訳者に送付

（2）国際シンポジウムでの来場者への配布資料について

* 表紙に進行日程を記載

* 「戦争と医の倫理」趣意書

* 特別講演

・ 講演者の略歴紹介

・ 講演資料（3/15にパワーポイントのデータ受理の予定）

・ 3時前に会場玄関で出迎え。講演後帰る。シンポ、懇親会は欠席。

* 国際シンポジウム

・ パネリスト、座長の略歴紹介

・ ドイツ代表の報告 日本語（ドイツ語はつけない）

・ 日本代表の報告 日本語（ドイツ語はつけない）

・ 2011 東京宣言案

・ パネル展示紹介と会への協力をお願い（リーフ、振込用紙を同封）

* その他（掲載資料があれば）

(3) 各報告者・座長・通訳等の事前打合せについて

①バスティアン氏の来日 (4/7)、帰国 (4/11) は、当会の送迎日となる。

このため、担当を決めて送迎する。

②シンポジウムの事前打ち合わせ予定

日 時 4月8日 (金)

※午後1時~3時 パネル展示会場のご案内

小俣常任世話人と事務局

午後4時~6時 (6時以後は夕食で意見交換・通訳者は6時までとし、翌日4
時間に変更依頼したい→派遣業者と可能かどうか相談する

場 所 宿泊先の東京ガーデンパレスで確保予定 (手配はこれから)

参加者 刈田世話人 (日本側報告者)

小島、小俣各常任世話人 (座長)

西山 (主催者挨拶)、石川、赤羽根各代表世話人、住江事務局長

通訳者 萬代倫子 (まんだいみちこ) 氏 (午後4時~7時まで)

担当事務局 →

③シンポジウム当日の対応予定

・担当世話人 (小俣常任世話人)・事務局 () 会場までの案内など対応

④10日の東京案内と夕食の予定

・担当世話人 (小俣常任世話人)、事務局 () 案内場所等の準備

⑤往復航空券の領収書と引換えに代金、謝礼金の支払い (財政担当)

⑥講演記録の使用許可の確認

※シンポジウムの運営で、参加者からの質問等への対応は、質問要旨を用意する。

(4) 映像記録の方法について

販売を前提とした映像記録は、会場下見の結果、①演者への照明装置など必要もとなり、
演壇前での操作は進行にも影響しかねない。②費用対効果でも会の負担が大きいため、記
録として見る程度で予定→尾関企画へ依頼する。

記録の出版は、岩波ブックレット編集担当者がシンポジウムに参加し検討する。

(5) 懇親会の準備について

・参加費 6000 円で事前申込・振込制で予定 (世話人会で確認済み)

・進行担当世話人 (石川代表世話人、赤羽根代表世話人代行)

・事務局 (受付、進行補佐等)

・進行企画案の検討 (「悪魔の飽食」を歌う東京合唱団?)

(6) 招待者の検討について

シンポジウムへの招待について (招待席を確保し、懇親会の招待は予定しない)

・ドイツ大使館 ・中国大使館

・日本医史学会 ・日本医学教育学会

・アンケート回答の各学会、医科大学 (医学部)

・森村誠一氏、その他

(7) 第二会場の確保について

鉄門講堂 (302 人) を越えた場合にそなえ、第二会場 (100+30+30=160 人) を確保。一
つは世話人会・事務局の控室とし、必要なときは会場で使用する。

尾関企画と講堂等の設営について機材の事前確認を1週間前位に行う。

5. マスコミへの広報と記者発表について

(1) 記者個人への取材要請について

* 前回記者会見への参加・照会の記者、関連報道の記者、保団連マスコミ懇談会参加記者などに取材要請を行う。

(2) 当会主催「マスコミ・記者との懇談会」を下記で行う。

* 日時 3月22日(火) 午後2時～4時

* 場所 保団連会議室

* 対応者 西山代表世話人、小俣常任世話人、住江事務局長、事務局

* 準備資料

(3) 記者会での資料配布は下記を予定する。

* 厚生労働記者会、日比谷クラブ(医療専門誌・紙)

* 文部科学記者会

* 学術記者会(日本学術会議内)

6. 顧問・世話人会構成員への参加希望、パネル案への意見の通知

案内と意見集約用紙の案について、事務局より提案があり基本的に了承。パネル案の作成状況により、案内のみ先行することも含めて事務局長に一任した。

7. その他

下記の日程で事務局会議を予定する。

* 3月9日(水) 14時～17時 保団連会議室

* 3月25日(金) 14時～17時 保団連会議室

以上